

Weekly Report



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー:変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017～2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

創 立: 1980年(昭和55年)1月10日
会 長: 稲葉 徹
幹 事: 大嶽 達郎
クラブ広報委員長: 鈴木 健司
例 会 日: 毎週木曜日 PM12:30～
会 場: ヒルトン名古屋

事務局: 460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F

T E L: 052-211-3803

F A X: 052-211-2623

E M A I L: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

U R L: http://www.mizuho-rc.jp/

第1825回例会

～水と衛生月間～

クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2018年3月22日(木) 晴れ 第33回

司 会: 松田浩孝会場委員
斉 唱: 「四つのテスト」「それでこそロータリー」
ゲ ス ト: 瑞陵高等学校IAC顧問 森 重統先生
瑞陵高等学校IAC会長 水谷 恵さん
瑞陵高等学校IAC副会長 渡会 知智さん

会長挨拶

稲葉徹会長

皆さん、こんにちは。本日は名古屋瑞穂RCの事業計画に書いてある2つの大きな出来事のご報告をして会長挨拶とさせていただきます。

まず1つ目は、3月11日に西名古屋分区と東名古屋分区の共同事業として、東山動植物園に於いて「桜の回廊プロジェクト」のヤマザクラ30本の植樹が行われました。これはRI会長にテーマあります「一人1本の植樹」ということで、地区の共同事業として西名古屋分区と東名古屋分区で本年度と次年度に渡って行われる事業です。当クラブから私と市岡社会奉仕委員長、鶴田次年度社会奉仕委員長の3名と、瑞陵高校のインターアクトクラブの森先生、メンバーの方にご参加いただきました。100種1000本の桜がある植物園の桜の回廊、これは昭和26年に名古屋のRCで桜の事業が行われまして、また新たに回廊を作ろうということで今年度東山動植物園との共同事業ということで行われた運びです。2年間に渡って合計100本～130本寄贈する予定です。式典は天気も非常によく、関係者が見守る中、神野ガバナー、村井ガバナーエレクト、名古屋のRC幹事らで、ヤマザクラの苗木にスコップで土をかけ、ら「桜の回廊」と書いた記念碑の除幕式も行いました。その後、星ヶ丘ボウルで懇親会が行われ、桜の話で各クラブのメンバーと懇親を深めて参りました。



2つ目は、3月14日(水)～16日(金)まで例年通り台北延平RCの41周年の式典に参加して参りました。茅ヶ崎湘南RCの20名を超える、総勢24名という多数の参加で大変嬉しく思っております。大嶽幹事、湯澤国際奉仕委員長、村上延平班長をはじめ沢山の方々に参加いただきまして大変お疲れ様でした。いつもながらの台北延平RCのメンバーの暖かく手厚いおもてなしには頭が下がる思いです。3月14日台北到着後、15時30分より国賓ホテルに於きまして、名古屋瑞穂RCから私、大嶽幹事、湯澤国際奉仕委員長、村上延平班長、北岡次年度延平班長の5名と、台北延平RCからはKim会長、Automation副会長、Powertankさん、ICさん、Michaelさん、Cartonさんの6名が参加し、次年度の両クラブの訪問について討議を約1時間行いました。その後、18時30分よりシーザーホテルにてウェルカムパーティーが開催され、当クラブより18名、台北延平RCより19名の参加があり、いつもながらの「カンペイ!」「カンペイ!」の大宴会となり初日が終わりました。翌日3月15日(木)は、ゴルフ組11名、観光組8名と分かれ、それぞれ記念式典前の時間を満喫しました。観光組は、安永新会館の見学、国立伝統芸術村での食事と見物をしてきました。18時より国賓ホテル2Fの大宴会場に於いて、台北延平RC41周年の記念例会が開催されました。Kim会長による開会の点鐘、中華民國国歌、日本国歌斉唱に続き、ロータリーソング、台北来賓の挨拶と続き、茅ヶ崎湘南RCの協会会長の後、名古屋瑞穂RC会長として挨拶させていただきました。Automation副会長の感謝の言葉で式典の部は終わり、19時より新竹大肚小学生の打楽器合奏のもと晩餐会が始まりました。ジャズの生演

奏とともに大いに盛り上がり、21時にはお開きになりました。毎年の周年記念でこれ程の人数で盛大に開催されていることに、台北延平RCのパワーには正直驚きました。翌3月16日(金)には何事もなく帰国の途につきほっと安堵したところです。報告を終わります。



出席報告

田中宏出席委員長

会員64名 出席36名 (出席計算人数47名)

出席率 66.7% 3月8日は補填により87.5%

ニコボックス

田中宏ニコボックス委員長

- 孫が医学部合格しました。 岩本 成郎さん
- 久しぶりの出席の気がしますので! 高村 博三さん
- 本日は友人の水野さんに卓話を御願いました。すばらしい取組をしてい 鶴田 浩さん
- ます。よろしく御願います。 森 恒夫さん
- 家内の誕生日に花を有難うございました。 稲葉 徹さん
- 3月14日(水)から3月16日(金)までの台北延平RC41周年記念式典参加の 春です。山崎川の桜が咲き始めました。私はカゼで2日間ダウンしてまし
- 皆様、本当にお疲れ様でした。国際奉仕湯澤委員長、村上班長はじめ、野崎 さん、大嶽さん、他皆様参加ありがとうございました。 大嶽 達郎さん
- ・た。 先日の台北延平RC訪問の際は、同行者の皆様に大変お世話になりまし
- ・た。誠にありがとうございました。 村瀬 俊高さん
- 台北延平RCの訪問に際しては参加の皆さんには大変お世話になりまし
- ・た。特に延泊の皆さん、ありがとうございました。 田中 宏さん

幹事報告

大嶽達郎幹事

- 本日13時40分から新旧会長・副会長・幹事懇談会をヒルトン名古屋4F
- ・「梅の間」にて行います。
- 次週3月29日(木)は18時から例会及びI.D.Mをヒルトン名古屋4F「桜の
- ・間」にて行います。

委員会・同好会報告

クラブ奉仕委員会: 梅村昌孝委員長

3月29日にクラブ奉仕委員会では、I.D.Mの開催を予定しております。テーマは、2016年の規定審議会で採択されました制定案について、一つはクラブ内の委員会について規定する件、もう一つはRCの目的を定義する件、この2件について討議していきたいと思ひます。メールボックスに来週週のテーマを入れさせていただきます。ぜひとも参加していただければ

と思います。何卒宜しく願い致します。

野球同好会：馬場將嘉さん

今年の9月17日に甲子園の出場が決まりました。50万の請求書がきておりまして、37名おりますので、一人1万円ずつ会費を徴収したいと思えます。ご協力宜しく願い致します。

ゴルフ同好会：田中宏さん

10月12日(金)に4RCの親睦ゴルフコンペを三好カントリークラブにて開催予定です。名古屋瑞穂RCの4連覇を目指して、ぜひともご参加を宜しくお願いします。

IAC活動報告

水谷恵さん 渡会知智さん

1月の中旬に料理講習会で中国のお菓子「月餅」を作り、月餅にちなんで中国の歴史を調べて発表しました。月1回のデイサービス訪問では、楽器の演奏ができる部員で演奏会を行いました。週1回、AETの先生と交流もしています。NPOのお手伝いとして、未使用文房具と書き損じハガキの回収をしました。初めての取り組みでしたが、合計600点程の文房具と300枚程のハガキが集まり、それらをフィリピンに住む子どもたちに送りました。校門前の道沿いの花壇に花の苗を植え、毎日交代で水やりをしています。文化祭には名産品の販売や震災の被害と現在の状況を展示してお客さんに伝えました。他の部活と協力して赤い羽根協同募金や東日本大震災義援金募金を登校時間に門の前で募りました。赤い羽根募金では、例年より多く金額が集まりました。ワールドフードふれあいフェスタでは、ボランティアとしてゴミ拾いや着ぐるみを担当し、本年度はポリオ募金の回収も手伝いました。



森重統先生

学校というのはとにかく狭く小さくかたまる場所でありまして、他の社会とつながりを持つ窓を作ることとはすごく大事なことであり、インターアクト活動はその一つとして、大事にしていきたいと思っています。また、伸びようとする芽に水と肥料をかけてくれる組織もあるんだぞと、日本の世の中まだ捨てたもんじゃないぞと、そのようなメッセージを生徒達に送れていることがとても大事なことでありまして。どうもありがとうございます。

卓話

(有)みずのかぐ 代表取締役社長 水野照久さん

上流と下流を家具でつなぐ、コダマプロジェクト

本日はこのような席にお招きいただきまして、心より感謝申し上げます。私は昭和43年生まれの49才。家業である、守山区にあります、家具小売店みずのかぐの2代目として、現在勤続23年となります。みずのかぐは昭和39年に創業し、今年で53年目となる、瀬戸街道沿いにある小さな家具店です。本日は、私共が取り組んでおります「コダマプロジェクト」のお話をさせていただきます。コダマプロジェクトは、上流の岐阜の山と、下流の名古屋の街の、人と人を家具という道具を使ってつなぐプロジェクトです。コダマの意味は、上流と下流が「おーい!」「やっほー!」と呼びあうコダマや、木の霊と書いてコダマや、のぞみじゃなくてコダマのスピードでいこうよ!なんて意味があります。2012年から始まったプロジェクトは、現在6年目を迎え、現在は、私たちショップ・小売店、林業、製材業、木工、デザイナー、建築家、そして消費者であるお客様がメンバーの一員として参加してもらっています。

なぜ、このプロジェクトをはじめる事になったのか。はじめは、単純な疑問からでした。なぜ7割が森林の日本には、沢山の木があるのに、日本の木を使った家具がうちの店にないのだろ。

そして、これだけ木に囲まれて仕事しているのに、今まで木が切られるところを見た事がない!そう思い、木や山の事を知るために、林業の知り合いを訪ね岐阜県郡上八幡の山へ、社員旅行に出かけました。僕自身、20数年家具屋をやってきて、この時はじめて木が切られ、製材される所を見てとても感動し、お客様も連れてきたいと思いました。

皆様、日本の木材の自給率がどのくらいご存知ですか?昨年、林野庁が頑張っていて、6年連続で増加していますが、それでも全体の34.8%で、約65%を輸入木材に頼っています。国の施策で、杉等の植えられすぎた針葉樹の間伐材を使った合板需要が伸びています。コンパネと呼ばれる下地材は、現在ほとんど国産針葉樹の間伐材でまかなわれています。しかし今、山では

逆転現象が起きていまして、細い小径木と呼ばれる間伐材の需要はあがってきましたが、間伐により森に光が入るようになり、しっかり太い木が成長して切り時を迎えていますが、直径60cmの立派な主伐材は使い道が少なく単価がつかない状況が生まれています。国内産の針葉樹の単価を上げるには、杉やヒノキの針葉樹が、無垢のまま表面材として使われる状況を作る必要があります。

針葉樹は、「やわらかい」「キズがつきやすい」を欠点として建築では表面材として避けられていますが、その価値観を「やさしい手触り」「さわるとあったかい」という認識に変えていくことができれば、もっと山にお金が落ちるかもしれない。「下流」の家具屋の僕たちにできる事はないか。みんなで話し始めました。まず取引のあった、中津川付知町の木工職人さんを訪ねて、「東濃スギ」「東濃ヒノキ」というブランドを持つ、東白川村の村役場と林業の方々をご紹介します。

毎月1回のミーティングをはじめ、回を重ねるごとに、小売店、木工職人、林業、村役場、建設業、デザイナー、建築家、学生などメンバーが増えていきました。上流と下流の人間が集まって、みんなでたくさん話をしました。まずは、ここで上流と下流が、約1年かけて、デザインが仕上がって、コダマデスクが完成しました。大人になってからも、パーツをばらして使えるようにしました。

でもここで疑問です。ただ上流の素材でできたデスクを作っただけで、「買う理由になる?」「上流とつながるか?」です。デスクをただ販売するのではなく、「親子で森林体験の合宿付きのデスク」として販売しよう。合宿に参加できない人には、このデスクを売らない。不売の誓いです。

子供たちが大人になるまで、自分で使う学習デスクがどんな山で育った木でできているかを、合宿に参加し、自分で体験することで、どんな自然環境の中にいるのかを、合宿の思い出と共に、感じて過ごしていくことができると信じています。実際合宿は、子供たちが楽しめる内容になっており、難しい話はほとんどしません。コダマデスク専用の特別なプログラムを、東白川村のみんなと作りました。合宿のはじめのあいさつは、村長さんのあいさつからはじまります。現在まで5年で6回の合宿を開催し、約40組120名のご家族に参加していただきました。

その後「コダマソファ」「コダマテーブル」「コダマベッド」「コダマふとん」など、上流の針葉樹を表面材に使った、様々なオリジナル家具を製作しています。しかしながら、まだまだ伝える力も足りず、針葉樹の家具の需要は伸びません。これから勝負だと、覚悟を決めてやりぬきたいと思っています。

このプロジェクトを通して子供たちが、上流の山の生活に触れて、下流の街で毎日あたりまえに使う「水」に感謝して、山の思い出と共に、自分の道具を使うことができれば。上流と下流のひとと人が、やさしくつながる事で日本の山を取り巻く環境がよくなると信じています。現在コダマプロジェクトは、家づくりに挑戦しています。まずは動かせる小屋「コダマベース」。上流の針葉樹で作りトラックで運び、降ろして納品する小屋。10m以内のため、建築申請が必要ないため、税金もかかりません。駐車場1台分で設置できますので、離れとして、小さなショップや事務所として、活用いただいています。

納品設置費込みで2,480,000円です。先日、ネットショップで注文が入り、熊本県阿蘇山まで、トラックに載せて、フェリーで納品に行ってきました。そして上流の木で作る家「コダマハウス」です。家族で山に行き、体験合宿に参加し、森の中で大黒柱になる、1本の木を選び、その木をそのまま構造として設計され、その素材のほとんどを毎日の水を生んでいる、上流の針葉樹で作られている「コダマハウス」現在守山区竜泉寺にて、2018年1月竣工しました。2カ月に1回オープンハウスを開催しています。ぜひ一度見に来てください。

「家具で人をシアワセにします。」この理念に出会い、人のためになる事にシアワセを感じることができて、僕の人生が、はじめて意味のあるものに思えるようになりました。これからも、家具を通して「人をシアワセに」していけるよう精進していきます。



例会のご案内

■今週

3月29日(木) 1826回例会及びIDM
時 間：18：00～20：00

■次週の卓話

4月5日(木)
テ ー マ：熱田界隈を盛り上げるあつた宮宿会について
卓 話 者：あつた宮宿会会長 鈴木淑久

■次々週行事

4月8日(日) 春の家族会
場 所：蒲郡クラシックホテル